

□要請番号 (JL25118A12)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-----|-----------|------|------|----|------|---------------------------|
| パナマ | G159 数学教育 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2018/3・2018/4・ 2019/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

ボリバル小中学校(中学部)

3) 任地（ベラグアス県エル・マラニヨン）JICA事務所の所在地（パナマ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約5.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

パナマではすべての公立学校を教育省が所轄しており、各県に地域事務所をもって教育行政を掌っている。配属先であるボリバル小中学校は、1959年創立、児童生徒数300名、教員数30名の、幼稚部を併設する小中学校である。年間予算は11000ドル(教員給与を除く)。JICAでは、学校教育の改善のため、パナマ国内のいくつかの学校に、算数・数学教育、理科教育、環境教育のボランティアを派遣中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パナマの数学レベルは低く、OECD(経済協力開発機構)生徒の学習到達調査(2009)で65か国中64位、数学オリンピック(2015)で104か国中99位になるなど、教育省にとって数学能力向上は重要な課題となっている。その後、しばらくOECD調査に参加していなかったが、2018年度にふたたび参加することを決定しており、教育への取り組み強化が求められている。生徒の多くは数学に苦手意識を持っており、興味・関心を引き出す授業内容、指導法が必要となっている。さらに、この学校の中学部には、近隣の8つの小学校からの進学者がいるが、近隣小学校の多くは複式学級であり、十分な学習をせずに進学してくる現状がある。このような学力差に対応しつつ、日本の教育方法をいくつかのパイロット校で実践・普及していくため、この配属先へのボランティアの要請が出された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

以下のような活動を中心に、教員及び生徒を対象とした活動を行う。

1. カウンターパートとともに数学の授業を行い、授業手法等についての助言・支援を行う。
2. 教員対象の研修会やセミナーを企画・実施する。
3. 授業観察、研修会のモニタリングを行い、授業の質の向上を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、机など

4) 配属先同僚及び活動対象者

上司である校長は、50代後半、36年経験(うち校長経験12年)の大卒女性。

カウンターパートは、30代前半の11年経験の男性。中学部の数学教員。

対象生徒は、日本の中学校1-3年に相当するいずれかの学年の生徒。

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語**【資格条件等】**

[免許/資格等]：（中学校又は高等学校教諭（数学）） [学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（教員経験）2年以上 備考：経験に基づいた指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（25~35°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水源]：（安定）

【特記事項】**【類似職種】**